



真宗大谷派（東本願寺） 天満別院

大字城

726号

2025
5/1

大阪市北区東天満1-8-26
06-6351-3535
代表者 輪番・奥林 曉

トラのいのちとなって

遠い昔のインドです。三人の王子を持つ大王がいました。ある時大王は妃と王子たちと沢山の家来を連れて野遊びに出かけました。大王が疲れたので休憩になり、退屈した王子たちは森の奥まで探検しました。

すると行く手にトラがうずくまっています。よく見ると赤ん坊のトラが二匹、母の乳首を口に含んでいます。王子たちは母トラの様子に不自然なことに気づきました。お乳が出ないのか赤ん坊のトラは機嫌が悪く、母トラもイラだっていました。三人の王子たちが近づいてみると母トラは飢えに堪えかねて今にも我が子に爪を立てようとしていました。末の王子が兄たちにトラは何を食べるのか尋ねました。

「殺したばかりの新鮮な肉と血だ、僕たちにはどうしようもない」とその場に立ちすくみました。

末の王子は瞬時に思いを巡らしました。「僕はこれまでに数えきれない人生を繰り返してきた。無益に命を捨ててばかりだった。欲望に負け、怒りを抑えられず、愚かさのために虚しく命を粗末にしてきた。一度も法の為に命を捨てたことがない。今こそその時だ！」末の王子は二人の兄に「用事があるので先に帰ってほしい」と言いました。末の王子は急いで母トラに向かい、その前に

特別永代経志納

願人 金森 宣晴

右記の通りご進納有難く
ご披露致します。

別院崇敬護持のため、大切に使用させていただきます。



今月の伝道掲示板

すべての人間は

生まれつき

知ることを欲する

— アリストテレス —

先日、お花見に行った際、「数珠掛桜」という品種があることを知りました。親鸞聖人が桜の枝に数珠をかけたという故事により、この名がつけられたそうです。

何気ない日常を過ごしていてもふとしたことがきっかけで、新たな発見ができることに気付かせていただきました。

春は出会いと別れの季節です。私事ですが、4月から真宗学院で学ばせていただくことになりました。新たな出遇いが楽しみです。

(U)

身を横たえました。ところが母トラは口を開くこともできません。王子は先の鋭い枝で身を刺して血を出しました。母トラは頭もまたげずにそれを舐めました。わずかに元気を回復した母トラは王子を食べ始めました。するとたちまちお乳が出て二匹の赤ん坊のトラも命を保つことができました。

薄絹の傘の下でまどろんでいた妃が夢を見ました。三羽の兄弟のハトが森で遊んでいると鷹が突然に末のハトを襲って食べてしまいました。妃ははっとして、戻ってきた二人の王子に顛末を聞き、大王と共に森の奥へ急ぎました。母トラの周囲に散らばる骨を見て余りのことに二人とも気を失ってしまいました。

兜率天に生まれた末の王子は間もなく下界を望むと両親が死ぬほど哀しんでいます。大王と妃はまばゆい神を見て驚きました。

「お父さまお母さま。僕です末の王子です。悲しまないでください。僕はトラに食われたのではありません。飢えのため死にかけていたトラの母子を救いたくて僕がこの身を捧げたのです。今は兜率天にきて間もなくそちらへ参り悩み苦しむ人々を救います。」

無数の天人が王子の慈悲の行を褒め讃えました。大王と妃は深い悲しみの内にも王子に心からの合掌を捧げました。

兜率天 六欲天の第四天。内院と外院があり、内院は将来仏となるべき弥勒菩薩が住するとされ、外院は天衆の住む所とされる。

《出典『賢愚経』巻の一 第二話 摩訶薩埵、身を以て虎に施すの品 第二》

寺町という歴史ある地域に
根ざした老舗葬儀社

(株) 天満花重

〒530-0041
大阪市北区天神橋 3-4-6
電話 (06)-6351-3875
FAX (06)-6351-6260

地域のお客様の毎日に、
「おいしい」「ワクワク」「ハッピー」を
お届けするスーパーマーケット

ライフ東天満店

〒530-0004
大阪市北区東天満
1-8-14
TEL 06-6357-1100



Q&A

お寺や神社で行っている祈願は効果があるのですか？



答え

大変大切なことに気付かれまして。ブラシーボ効果（偽薬効果）という言葉があります。権威あるお医者さんからよく眠れる薬ですとビタミン剤（偽薬）を与えられて、自分でも効く薬だと思ふことによって、よく眠れました。本物のように効果があるということです。

私が小学生のころ（昭和40年代）近くの商店街でくじ引きがあり初めて行くときに一度やってみようとお内仏へお参りしていきましました。すると一等賞コーヒー牛乳一ヶ月分が当たったのでした。お皿セットや春日神社初詣券など次々と当たり、これ

は効果があるのだと思ひ必ずお参りをしていきました。ところがそんな世の中は甘くありません。だんだん当たることはなくなりましました。それでようやくそこには何の因果関係もないことを知りましました。これで済めばいいのですが「祈り」には実は大切なことがあります。よくご年配の方々が健康で病氣もせず認知症にならず寝たきりにもならずぼっくり死にたいといわれる方が多くおられます。今でもよく聞く言葉です。またぼっくり寺というお寺も各地にあります。これは「未来」を救ってほしいという「祈り」です。浄土教の中にある「臨終来迎」も同じ意味でしょう。しかし一番大切なのは「今」を救えるかということにあります。

（第6組専宗寺 本田哲）

新生児 初参りしませんか

赤ちゃんを授かったら、仏さまに感謝とご挨拶をしましょう。

初参りとは、古来より勤められてきた、生まれた子どもの初めてのお仏事です。時期などは決まっております。

別院では新生児初参りを受け付けています。ぜひご家族お揃いでお参りください。

晨朝（おあさじ）に参りましょう

別院では、毎朝7時45分から本堂にてお勤めがあります。お勤め本は別院で用意していますので、ご活用ください。

また土曜日、日曜日には職員とご門徒による感話があります。

感話とは日頃感じたことを10分程度でお話させていただくことです。

どなた様でもお参りいただけますので、一日の始まりをぜひ晨朝から始めてみませんか。皆様のご参詣をお待ちしております。

仏前結婚式のご案内

天満別院では仏前結婚式を随時受付しております。

浄土真宗の結婚式は、御本尊の阿弥陀如来の尊前で、誠に深い因縁によって遇う事の出来たお二人が、その一生を共に生きていくと誓いをたてあう厳粛な儀式です。



寺院関係の皆様だけでなく、ご門徒の方々の挙式も御遠慮なくお申し込みください。ご相談、下見等のお問い合わせは寺務所までご連絡ください。

ご案内

5月 定例法話

定例法話では多彩な講師陣が分かりやすく真宗のみ教えをお話ししてまいります。5月は左記の通り開催致します。

記

日時 5月24日（土）

13時30分

場所 天満別院 本堂

御講師 第7組 教應寺

建部 智宏師

講題 「思わず出てくる

ものの尊さ」



報告

大阪教区慶讃法要団体参拝

去る、4月17日（木）～20日（日）

に「大阪教区宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要」が難波別院（南御堂）で勤修されました。

天満別院門徒会では20日に団体参拝を行いました。



新規墓地・

合祀墓納骨のご案内

現在、別院では真宗の御門徒の墓地使用者を募集しています。



また別院の由緒を敬慕し崇敬護持に協力する門徒、及び信徒の墳墓として合祀墓がございます。

多くの方々にご利用いただきたく御案内申し上げます。



儀式執行は別院職員が行います。墓地のお求め、納骨等詳しくは寺務所までご連絡ください。

当日は、木越宗務総長のご挨拶の後、新門さまが出仕され本堂内も満堂になり奥林輪番も拝礼いたしました。参堂列（稚児行列）には堀河列座のお子さんが参加しました。



ご門徒の皆さんは、境内に設置されたキッチンカーや物産展での買い物や仏花店を見学され、良いご縁をいただけたと喜ばれていました。